

仙北市観光振興計画の概要をお知らせします

観光施策を進める上での道しるべとして「仙北市観光振興計画」を策定しました。計画の実行に際しては、皆さまにご協力をいただきますようお願いいたします。

計画策定の目的

仙北市総合計画に掲げている、交流人口1千万人の数値目標達成と市の将来像である「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」を実現するためには、市民、観光関係団体等の協働により観光客の誘致を強力に推進する必要があります。

この計画は、観光を取り巻く現状と課題を踏まえ、これらを解決する方策、将来を見据えた観光施策の進む方向を示すものです。

基本理念

○市民に対して

観光と農林業、商工業との連携により、市民全体が豊かになる「観光で潤うまちづくり」を進めます。

○観光客に対して

何度でも訪れたい、周りの人にも勧めたいと思っていただける、一年を通して観光客を迎え入れることができる「いつ出かけても、何かある観光のまちづくり」を進めます。

計画期間 平成19年度から平成27年度までの9年間

施策の基本方針 ～次の3つをベースとして施策の展開を図ります～

■キーワード1 [のこす]

- 仙北市の観光を形作っている自然環境や農村風景、歴史・文化を守り、伝える「のこす」環境づくり
- これらの保護、保存を最優先し、今あるものを自然な形で見せる、体感できる観光を推進し、仙北市にしかない自然、歴史・文化を訪れた人々へ提供

■キーワード2 [いやす]

- 花や緑といった美しい自然景観、温泉、雪、山の幸や人のぬくもりなどの「いやし」の要素をここに住む人たちが再認識し、自らが実感する
- すべての産業に携わる人々が一体となり、心身ともに健康で元気になれる、癒される空間の創出と活かす取り組み

■キーワード3 [もてなす]

- 人との出会いの中での小さな心配りから快適な施設の整備に至るまで、あたたかい細やかな気配り
- いつでも、どこでも、だれにでもあたたかく訪れる方々を受け入れる「もてなす」心を仙北市の魅力として定着

重点施策 ～次の3つを重点的、優先的に取り組めます～

やさしさを感じる受入態勢

- 市民や地域全体で観光客をあたたかく迎え入れる「おごってたんせの心」の醸成と態勢づくり
- 親切でわかりやすい案内誘導の方策など、やさしさを感じさせる施設の整備
- 観光客に何度でも訪れたいと思っていただき、リピーターの増加を図る

魅力を伝える観光情報

- 仙北市のイメージ定着と誘客促進のため、送り手側の顔が見えるような行き届いた情報の発信
- あらゆる手段を駆使して、訪れたことのない人でも、自然に仙北市に足が向くような情報の発信

冬の観光を元気に

- 冬期観光客の増加を図り、一年をとおして観光客が訪れる活気のあるまちづくり
- デメリットとして捉えられがちな冬や雪を逆手に取った新たな施策

エリア別推進方向 ～エリア間の連携を強め、各エリアの特性を最大限に活かした施策の展開を図ります～

武家屋敷周辺エリア

- 武家屋敷通り周辺の建造物の保存や樹木の保護、町並みの保存等
- 「外町交流広場」の活用等、観光客を外町へ誘導することによる商店街の活性化
- 角館特有の新たな観光資源の発掘と開発、既存資源と絡めるなどの施策

田沢湖周辺エリア

- 大自然や温泉などの魅力の発信、自然と体験学習等とを組み合わせた施策
- スポーツ施設の活用と環境整備を行い、スポーツを軸とした観光の振興
- 田沢湖畔周辺の魅力の発信と観光施設の整備
- 冬期観光客の減少を増加に転ずる施策を講じ、観光地の活性化を図る

農山村エリア

- 豊かな自然環境とのどかな田園風景、あたたかい人情のある農山村環境の保存保護
- 観光を陰で支えている農業や林業の魅力を伝え、これら産業の育成、支援
- グリーンツーリズムなど体験型観光の受け皿の整備、都市との交流促進

施策の基本方向 ～次の7つを施策の柱として事業を展開します～

①豊富な観光資源の活用と掘り起こし

- 豊富な観光資源の価値を充分引き出し、活かし、新たな観光メニューを創出
- 眠っている観光資源を掘り起こし、磨きをかけ、観光に活かす
- 他観光地との連携強化と冬期観光の振興を図り、周遊型、通年型の観光地づくり

②観光基盤の整備と交通の充実

- 自然環境、景観や歴史、文化の大切さを再認識し、保護、継承に努める
- 観光施設の適正な維持管理、整備充実を図り、訪れる方々が利用しやすい環境づくり
- 道路網の整備や交通アクセスを充実させ、交通環境の利便性を高める

③「おざってたんせの心」による受入態勢づくり

- 訪れる人たちとの交流を通して仙北市の良さを知ってもらうために、もてなしの心の醸成
- 「おざってたんせの心」により観光客が満足し、また訪れたいと思うような受入態勢づくり

④観光情報の発信と情報の収集

- 仙北市の魅力をも正確に、きめ細かく、効果的に発信するなど積極的な誘客宣伝活動の展開
- 観光客のニーズを把握するため、定期的な情報の収集に努め、施策に反映

⑤観光と農林業、商工業の連携

- 観光と農林業、商工業との連携強化により、観光の魅力を高め、全産業の振興を図る
- 地場産農産物等を活用した特産品等の開発、販路拡大のためのPRや物産のブランド化

⑥ほんもとと出会う体験型観光の推進

- 地元の人たちとの交流を通して、仙北市の産業、生活、文化、風土を肌で感じる「ほんもの」、「特徴のある」「ほかではまねできない」体験型ツーリズムの推進

⑦国際観光の推進

- 仙北市の魅力ある観光資源の積極的なPRと外国人に特化したメニューづくり
- 外国人が気軽に、容易に旅行できるような案内や施設の充実など受入態勢の整備

計画推進体制の整備 ～計画の推進、目標達成に向けての体制づくり～

計画の進行管理体制

- 計画の的確な進行管理や見直し、検証を行う組織体制の構築

団体間のネットワークと情報の共有化

- 観光関係団体等の連携を強固なものにし、仙北市観光の意思を統一するため、観光全般の総合的な体制を構築
- 正確な情報を提供するための情報共有化のシステムづくり

市民、観光事業者、観光関係団体、行政の役割

市民

- 仙北市を「観光のまち」として認識し、自分たちも観光を担うという意識を持つ
- 観光客をあたたかく迎え入れる気持ちと観光事業に積極的に取り組む姿勢
- 観光案内人となれるよう努力するとともに、コミュニティ活動への積極的な参加

観光事業者

- 自分たちの接客サービスが市のイメージを大きく左右するという意識を持つ
- 日頃から「おざってたんせの心」を大切にした、質の高いサービスを提供
- 接遇の研修などによる人材の育成と観光事業者間の連携強化

観光関係団体

- 団体間の連携強化や観光事業者からの意見の吸い上げによる組織の強化、活動の充実
- 効果的な誘客宣伝活動や観光情報の提供などのほか、自主的、個性的な取り組み
- 各観光協会の特長と独自性を発揮した施策と一体的に取り組める体制づくりの構築

行政

- 観光振興の舵取り役として、市民、団体等との連携を基本に総合的な施策を展開
- 市民、団体等が事業を容易に行えるような環境づくりの整備や支援
- 観光関係団体等の意見を取りまとめながら国や県へ観光政策の要望や提案